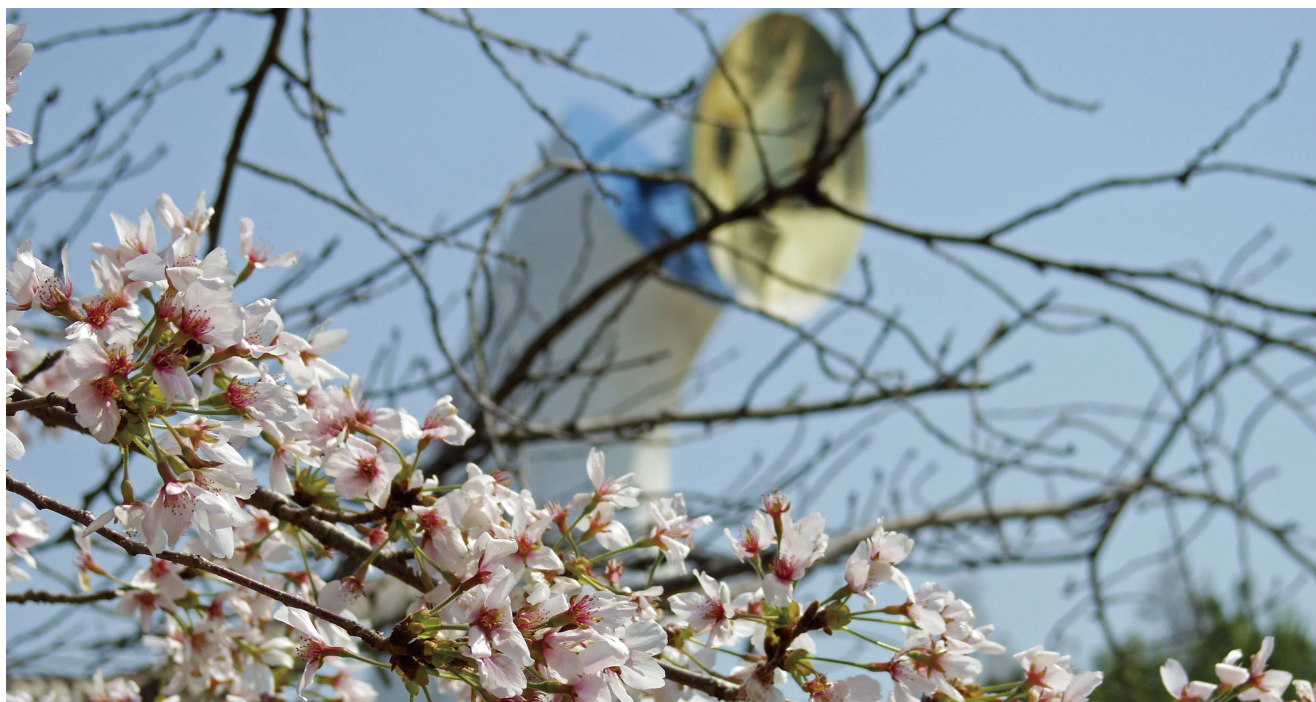


真宗佛光寺派
大阪教区・
別院だより

大悲

第 29 号

平成30年(2018年)
4月1日 発行



春うらら 万博公園太陽の塔（吹田市）

小学生の頃「霊柩車を見かけて親指を隠さなかつたら親が早死にする」と友人に教えられ、懸命に親指を手のひらの内側に隠していた覚えがあります。

霊柩車というと、最近いわゆる宮型霊柩車を見かけなくなり、リムジンやバンを使用した洋型霊柩車をよく目にします。

宮型の需要が減り、洋型に移行してきているのは、費用の問題の他に、火葬場近くの住民が宮型霊柩車を見ると気分が悪くなるといった精神衛生上の問題があるからだとニュースで伝えていました。

しかし死を連想させるものを目にするのが無くなったとしても、いつか必ず死を迎えます。つまり生と死は表裏一体で、決して切り離すことはできません。

それなのに冒頭の私の姿や霊柩車の話のように、いのちの事実には真正面から向き合おうとせず、誤魔化しているから、いつまでも本当のいのちの姿を見失い続けることになるのです。

（玉出宗順）

と う ひ が ん 到 彼 岸



～大阪別院
彼岸会法話より～

あしな 彰
妙圓寺 葦名

「かけがえのない人の死は、無言の遺教である」と恩師がよくおっしゃっていました。

お葬式は大切な仏事ですが、現実には悲しみに浸っている間もなく、葬儀式の段取りを慌ただしくこなしていかなければならない状況になってしまいます。

しかし、弔問者の接待や葬儀式の準備等に追われ、形式だけで終わってしまふのではなく、本当はかけがえのない

人の死を真正面から受け止めることが大切です。生前のご遺徳を偲ぶと共に、死という厳粛な人生の事実を通して気づかされるということがあるのではないでしょうか。

先立っていかれた方は、話しかけても何も応えてはくれません。しかしそのお姿から「生れてきたものは必ず死を迎える」という無常の道理を身をもって示してくださっているのです。

無言の遺教を聴く

父が亡くなった時、縁ある方々に「さぞお力落としてでしょう」とお悔やみのお言葉をいただきました。寂しく悲しいのは事実ですが、私はその時、亡くなった父から「これからのことは頼む、強く生きて往けよ」と励まされているように感じていました。

日が経つにつれて改めて父の人生を偲ぶ時、辛いこと悲しいこともあった

でしょうが、賜ったいのちを生き切ったうしろ姿を憶うと「空しく人生を過ごすことなく、私が私でよかったといえる人生をおくって欲しい」と願いつけてくれていると感じるようになりました。

亡き人に促され

かけがえのない人を亡くして、ようやく自分自身に出会い直す機縁が沸き起こる。それがなければ、亡き人の死を無駄にすることになりはしないでしょうか。

亡き人を偲びつつ、お葬式という仏事を尊いご縁として、わが身を問いつながらお念仏を申したいと思います。

(平成29年9月26日勤修の

大阪別院彼岸会法話より)



如^{によ}是^ぜ我^が聞^{もん}

名残り惜しく思えども

大阪教区 仏願寺 藤井良丸^{ふじう よしまる}師



平成29年11月18日、大阪別

られます。

院で、仏願寺住職の藤井良丸師を講師に法友会研修会が開催されました。「名残り惜しく思えども」と題して、いのちを終えて逝かれた方の姿についてお話しいただきました。

去りとうない

藤井師は、作家・葉室麟^{はむろりん ひぐいし}の『蜷ノ記』の一場面を紹介されました。それはある藩の高級武士が、前藩主の側室との関係にあらぬ疑いをかけられ、家譜編纂と十年後の切腹を命ぜ

られて、そして切腹を前に菩提寺の和尚に「思い残すことはない」と言います。それに対し和尚は「未練がないと申すは、この世に残る者の心を氣遣ってはおらぬと言っておるに等しい。この世をいとおしい、去りとうない、と思うて逝かねば、残された者が行き暮れよう」と諭されて、「未練なくあの世へ参るなどと申しては、生悟りだと謗られてもやむを得ませぬ。やはり逝くのはせつないものでございます」と

答えたといいます。

力なくして終わる

本願寺派の桐溪順忍師は「私もいよいよとなった時ひと声でもふた声でもお念仏が出て、おだやかに旅立てたら家内も喜んでくれるだろう。しかし、人間最後鬼が出るか蛇が出るか、どんな無様な醜態さらけ出して今生を終えるのかもわからん」とおっしゃったそうです。

藤井師は「そやけどどんな終わり方しても『あんたの死

に様には用事はない』、それが私の親さんでした。私がかいても愚痴こぼしても、私を見捨てない親がおられるから、安心して生き、力なくして終わる時、かねてからの阿弥陀さまの約束通り浄土に帰らせてもらおうと聞かせていただいております」と、にこやかにまた温厚な口調でお話しいただきました。

帰る処

「死の縁は無量」といいます。自分でどんなのちの終わり方をのぞんでも、意の如くならないのが我が身の事実です。しかし帰る世界があるからこそ、娑婆の縁がつきるまで安心して生き抜くことが出来る、と、藤井師の法話を通じ教えていただきました。

(長田 譲 記)

大阪探検

おかの丘 ハーベストのミュージアム 堺・緑の



子どもも大人も芝すべり



エサやりを楽しむ子どもたち



イチオシのおみやげ♡

【アクセス】
・堺市南区鉢ヶ峯寺 2405-1
☎072-296-9911
詳細はホームページ参照
<https://farm.or.jp/>

堺市南部に位置するハーベストの丘は、季節の花の観賞や動物とのふれあい、収穫体験、パンやアイス作り教室などが楽しめる体験型農業公園です。

充実した施設

カピバラ・ラマ・羊・うさぎへのエサやり、牛の乳搾り、乗馬体験などの動物たちとのふれあいは大人も心が癒されます。

また、創作意欲の旺盛な親子には、グルメ、クラフト、陶芸などの体験教室があります。

そして、全長40メートル・最大傾斜20度と迫力満点の芝すべりは子どもたちに大人気。

バーベキューレスト
ランや焼きたてのピザ

などが味わえるお店も充実しています。

おみやげのイチオシは、地ビールに手作りソーセージ。どちらもやみつきに。飲まない方には石窯くるみパンがおすすめです。

駐車場は無料、入園料や各体験コーナーについてはホームページでご確認ください。

農産物直売所

また、駐車場内に隣接した農産物直売所「またきて菜」では、地元ブランドの野菜や果物がそろっています。ハーベストの丘の園外にあるので、入園料も必要ありません。

ハーベストの丘で、子どもそして大人もゴキゲンな一日をお過ごしください。

(隅谷俊紀)

ごえんさんを訪ねて

じょうほうじ

浄方寺

(大阪市北区)

かどかわ

たかし

門山崇志 住職



元禄15（1702）年、釋

浄願法師が開かれたという浄方寺。もともとは梅田にほど近い堂山近辺にお寺がありました。大正8（1919）年に市電都島線が新設されるにあたり現在の場所（中崎町）へ移転されたそうです。山門をくぐると移転直後に植樹された立派な桜の木が迎えてくれます。

平成4（1992）年に戦火を免れた本堂の改修と庫裏の新築工事が行われました。本堂は一度解体し基礎工事後、組み直すという大改修工事だったそうです。また、平成7（1995）年には阪神淡路大震災で阿弥陀如来像が落下する被害があったにもかかわらず、丈夫な基礎工事のおかげで建物は無事だったそうです。

住職継職

昨年10月に第13世住職を継職され



お寺を見守り続ける樹齢百年の桜

ました。「今後、聞法道場として受け継がれてきた場を大切にし、さらに弘めていきたいです。毎月、聞法会やコーラスの練習会などを開催していますが、これからは花まつりといった子どもたちも集まれる法座も設けようと考えています。一方、高齢化による『ひとり暮らし社会』を迎える中、みんなが阿弥陀さまのお慈悲にふれ、決して『ひとりぼっち』ではないと実感できるみ教えを共に聞いていけるお寺を目指します」と語ってくださいました。

いろいろな活動を

ご住職は趣味も兼ねて龍笛（横笛）をされています。本山や大阪別院の報恩講、各寺院の大きな法要で雅楽を演奏し、時には独奏を披露され、美しい音色で法要を勤められています。

また、大悲の編集者でもあるご住職。編集会議では他のメンバーが気づかないような指摘をされ、皆から一目おかれる存在です。

しかし毛筆が苦手なようで、「これから新たに書道に挑戦していきたい」と恥ずかしそうに語ってくださいました。

（寿栄松正願）

■浄方寺（じょうほうじ）

〒530-0016

大阪市北区中崎2-3-26

電話 06-6371-9040

Fax 06-6371-9070

大悲トピックス

■さつき会・本山佛光寺参拝

3月5日、京都の本山において平成29年度最後のさつき会研修会が開催されました。

参加者の15名は、午前中に本山の両堂を参拝し、各書院を見学しました。各所で宗務部長の吉田譲氏より大変丁寧な説明を頂戴し、自身が所属する本山佛光寺に対する見識を改めて深めることが出来ました。

また午後からは北区にある長艸繡巧房「貴了庵」を訪れ、工房を見学させていただき、京繡伝統工芸士の

きょうめい

長艸敏明氏より日

本の刺繡の歴史に

ついてお話しした

頂きました。充実

した内容の研修会

に、参加者一同、

大満足の一日とな

りました。

(さつき会会長

門川絢子)



長艸氏より説明を受ける参加者

■「大悲の会」が後援する布教大会を開催



㊦挨拶される道野住職 ㊧法話前の布教使

1月21日、超願寺様（大阪市浪速区・道野真弘住職）にて「大悲の会」がコーディネー

トする6回目の布教大会が開催されました。

大阪教区所属の布教使である脇阪義仁師

（霊松寺・大阪市住之江区）、隅谷俊紀師（高

照寺・堺市北区）、寺田宗隆師（報恩寺・堺

市東区）の三名から、それぞれ個性あふれる

ご法話をたまわりました。

また布教後には、ご門徒の皆さんも一緒

の懇親会が開催され、和気あいあいとした雰

囲気の中、親睦を深めました。

(大悲の会一同)

御本山 近 用達

株式会社 川勝法衣店

フリーダイヤル 0120-075-055

(〒600-8344) 京都市下京区花屋町通油小路東入

電話 (075) 371-0367(代)

FAX (075) 371-5088

本山佛光寺 御用達

石の総合メーカー

株式会社 石留石材

ホームページ

<http://www.ishitome.co.jp>

本社：京都市中京区堀川御池角

TEL 075-841-1149 FAX 075-812-5826

- 大正三年創業の信頼と実績 -

石留石材株式会社

各種石塔・石仏・記念碑

寺社建築石材まで

○ご相談は下記フリーダイヤルへ 携帯・PHS OK

0120-53-5578

[本社・工場・展示場] 藤井寺市津堂2丁目9番29号

浜屋は関西最大級のお仏壇・お仏具・墓石・御寺院お仏具の専門店です。

やすらぎの世界を創る



浜屋

通話料無料/浜屋姫路本社フリーダイヤル

お問い合わせお申し込みは

0120-1616-94

●受付時間/午前10時～午後6時30分

燦ホールディングス グループ

まごころ葬儀を創造する。

公益社

公益社 ご葬儀相談センター (24時間・365日受付・通話料無料・携帯電話OK。)

0120-567-701

※2012年5月現在 ㊦-0131

燦ホールディングス グループ

なごみ庵



きたはま KITAHAMA

法要料理
希望の場所までお届けします。

■四條畷店
■瓜破店
■伊丹店

☎0743-78-7521

☎06-6769-0140

☎072-773-7531

※2012年5月現在 ㊦-0132

だいひ 絵日記

- 1月 2日 (火) 大阪別院修正会
 - 1月12日 (金) 大阪教区新年互礼会
 - 1月17日 (水) 大悲の会編集会議 (総会・第29号読み合わせ)
 - 1月21日 (日) 大悲の会后援・布教大会 (超願寺にて) ①
 - 2月14日 (水) 大悲の会編集会議 (第29号読み合わせ)
 - 3月 5日 (月) さつき会研修会 (本山佛光寺参拝)
 - 3月10日 (土) 佛青懇和会研修会 (報恩講研修会) ②
 - 3月18日 (日) 大阪別院彼岸会 (布教：脇阪義仁 師)
 - 3月21日 (水) 大阪別院彼岸会 (布教：佐々木太一 師)
 - 3月24日 (土) 大阪別院彼岸会 (布教：葦名 彰 師)
 - 3月27日 (火) 大悲の会編集会議 (第29号発送作業・第30号内容検討)
- (さつき会=坊守会、佛青懇和会=青年会)



「大悲の会」御用達

鮎 旬魚菜 さぐち

地下鉄御堂筋線あびこ駅前
tel. 06-6696-6880
〒558-0011 大阪市住吉区荻田 7-5-20
さつきマンション 1F

京懐石
和光庵

慶事、仏事、各種会合等の際は、
和光庵の仕出し料理を
御利用下さい。

株式会社 和光庵
〒543-0073 大阪市天王寺区生玉寺町3-32
TEL06-6774-8090 www.wakouan.co.jp
西天満店 結心 (ゆいごころ)
〒530-0047 大阪市北区西天満4-10-5-1 階
TEL06-6809-6311 www.yuigokoro.com



株式会社 モントラベル

〒550-0013
大阪市西区新町1-8-1 行成ビル
TEL. 06-6531-1344
FAX. 06-6531-1346
http://www.monto.co.jp
仏跡参拝ならお任せください!

協 賛

法 友 会
さ つ き 会
佛 青 懇 和 会

ご寺院、お役に立てる商品が、
きっと見つかる情報誌!

寺がある、法が活きる、寺の友社。



株式 会社 寺の友社

〒611-0002 京都府宇治市木幡平尾54番地の2
TEL 0120-7676-39 FAX 0120-7676-29
http://www.teratomo.jp

ご希望の、ご寺院には、無料カタログをお送りします。

表具 八木米寿堂

御本尊掛軸修理 絵画、書の表装

〒600-8073

京都市下京区柳馬場通仏光寺上る

tel 075-351-2853 fax 075-352-3258



どなた様でもお参りいただけます
法要・法話会のご案内



本山佛光寺茶所布教

毎日午前 7 時半

※大阪教区布教使の担当は下記の通りです

5 月 11 日（金）～ 18 日（金）

法話：葦名 彰 師



大阪教区寺院で開催される法話会

◎浄方寺（大阪市北区・06-6371-9040）

6 月 16 日（土）午後 2 時

「聞法会」法話：日野智深 師

◎正念寺（大阪市東住吉区・06-6714-3109）

6 月 13 日（水）午後 2 時

「聞法会」法話：有馬賢照 師

◎高照寺（堺市北区・072-252-2122）

5 月 19 日（土）午後 3 時

「聞法の集い」法話：榎原秀光 師

※詳細は各寺院にお問い合わせください

「大悲の会」後援・布教大会

宝林寺（阪南市・072-472-1414）

5 月 21 日（月）午後 2 時

法話（第一席）：門川崇志 師

法話（第二席）：寿栄松正顕 師

法話（第三席）：長田 譲 師

編 集 秘 話

表紙の写真。1970 年の大阪万博は「人類の進歩と調和」をテーマに開催され、戦後高度経済成長の頂点を飾りました。2025 年に再び大阪万博をと呼びかけるテーマは「いのち輝く未来社会のデザイン」。人類の科学技術は半世紀の間進歩したけれど、果たして調和は前進したのか。太陽の塔（天道様）はみてござる。（長田）

編 集 後 記

ものごとを長く続けていくと、いい意味でも、よくない意味でも「慣れ」が生じてきます。いい意味では「計画性を持って行動できる」、よくない意味では「新鮮味がなくなってしまう」でしょうか。『大悲』発行 7 年目を迎えるにあたり、「高いモチベーションを維持すること」の大切さと難しさを感じる今日この頃です。（隅谷）

大阪教区・別院だより『大悲』第 29 号（春号）

平成 30 年（2018 年）4 月 1 日発行（発行部数 2200 部）

発行：大悲の会

事務所：佛光寺大阪別院内

〒558-0011 大阪市住吉区苅田 6-11-24 電話 06-6691-1362

郵便振替口座：口座番号「00990-4-305218」加入者名「大悲の会」

大悲ホームページ <http://daihi.org/>

大悲の会

長田 譲（会長）

隅谷俊紀（副会長）

寿栄松正顕（会計）

玉出宗順（会計）

門川崇志（監事）

佐々木太一

葦名 彰